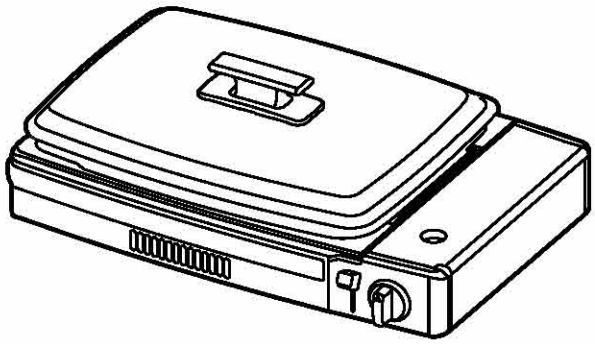
Greenwood

保証書付

カセットボンベ式
ガスクックプレート

取扱説明書

GHP-210N 家庭用



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■グリーンウッドカセットボンベ式ガスクックプレートを安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。そして必要な時に読みかえしができるように必ず保管してください。裏表紙が保証書になっています。

■本商品は利便性を追求した簡易こんろです。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損のおそれがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解の上でご使用ください。

●圧力感知安全装置付

正しく使って上手に節約

目　次　　ページ

ご使用のまえに ……2
特に注意していただきたいこと…… 2〜6
安全装置が作動した時の処置方法 …… 7
各部のなまえ…… 7
仕様…… 8
正しい使いかた…… 8〜9
日常の点検・お手入れ……10
故障・異常の見分け方と処置方法 ……10
このような時は故障ではありません……11
保管（長期間使用しない場合）……11
アフターサービス ……11
お客様の個人情報のお取り扱いについて …… 裏表紙
保証書…… 裏表紙

ご使用のまえに

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示の意味　⚠ 一般的な注意　❗ 必ず行う　🚫 一般的な禁止　換気する　接触禁止　発火注意

特に注意していただきたいこと

この機器は専用プレートの使用を基本として設計されていますが、プレートをはずして通常のこんろとしてもご使用いただけます。使用上の注意事項を十分にご理解の上でご使用ください。

1.容器（ボンベ）の過熱注意

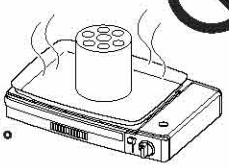
**この機器で焼肉等の調理の際は、付属の専用プレート以外はご使用にならないでください。
思わぬ火災、燃損等の事故になるおそれがあります。**

⚠ 警告(WARNING)

下記のような使い方は容器（ボンベ）が過熱し、爆発の原因となりますので、絶対にしないでください。また安全装置の作動を招く原因となります。

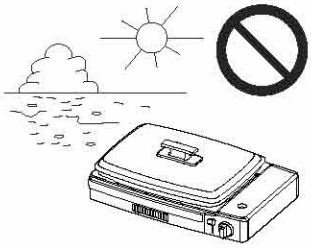
■調理以外の用途には使用しない

調理以外の用途（木炭、練炭などの火起こし等）に使用しないでください。ふく射熱により、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。



■容器（ボンベ）が過熱する場所では使用しない

容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。夏の砂浜、砂利、アスファルトなど日光によって容器（ボンベ）が過熱する場所では使用しないでください。

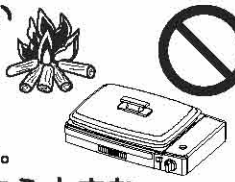


■調理器具の空だきは絶対にしない

本体内に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。

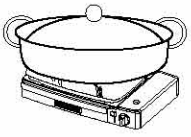
■火気の近くでは使用しない

火気からのふく射熱により、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。火気から2m以上離して使用してください。



■プレート受けを覆ってしまう大きな調理器具は使用しない

本体内に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。調理器具は、鍋底がたいらな直径19cm以上、26cm以下の調理器具をご使用ください。

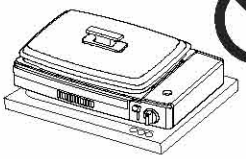


■2台以上ならべて使用しない

2台以上並べての使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。本体内に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。

■電磁（IH）調理器・電熱器など熱を発生する器具の上では使用しない

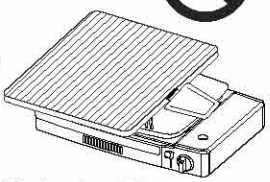
間違って電源が入ると、容器（ボンベ）が過熱され爆発するおそれがあります。



■セラミック付焼網器、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器等は絶対に使用しない。またアルミホイルなどで、ごとくや焼き網等を覆ったりして使用しない

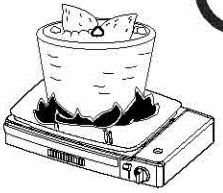
付属品以外は使用しない。

ふく射熱により本体内に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。



■石や砂、陶器などを使った焼きイモ器を使用しない

本体内に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。

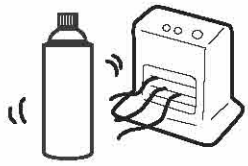


2.使用容器（ボンベ）とその取扱いについて

⚠ 警告(WARNING)

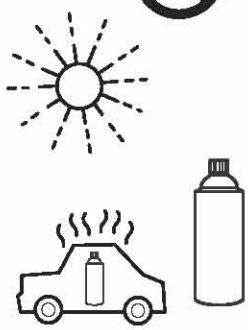
■熱気のあたる場所に放置しない

容器（ボンベ）はファンヒーターやオーブントースターなど、熱気を発生させる器具の周囲や熱気のあたる場所には放置しないでください。熱で容器（ボンベ）の圧力が上がり爆発の原因となります。



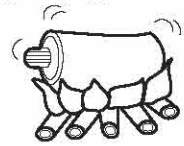
■火気や直射日光を避ける

火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しが良く湿気の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。
機器内に容器（ボンベ）を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。
また使用後は容器（ボンベ）を機器から取りはずし、同様の場所に保管してください。



■容器（ボンベ）を火の中に入れない

過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。



■容器（ボンベ）はガスを使い切ってから廃棄する

1.容器（ボンベ）を振ってサラサラと音がする時は、まだガスが残っています。必ず完全に使い切るか、火の気のない風通しのよい所でステム（先端）を押しつけて残りのガスを抜いてください。

2.完全に使い終わってから他のゴミと区分し、地域の取り決めにしたがって分別廃棄してください。容器（ボンベ）にガスが残っていると、清掃車の火災のおそれがあります。

⚠ 注意(CAUTION)

■専用の容器（ボンベ）を使う

容器（ボンベ）は、「クッキングファイヤー」の表示のある専用容器（ボンベ）を使用してください。
他の容器（ボンベ）を使用すると、ガス漏れなどの原因および正常な使用ができない場合があります。

■容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込まない

人体に害を与えることがあります。

■落下させるような場所で容器（ボンベ）を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

■容器（ボンベ）に強い衝撃を与えない 変形のある容器（ボンベ）は使用しない

お 願 い

- ●容器（ボンベ）に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- ●使用時は容器キャップをはずし、保管の時は容器キャップを押し込むだけにしてください。
- ●保管している容器（ボンベ）は、ときどき点検してさびが発生している時は、ガス漏れがないことを確認して、できるだけ早く使い切ってください。
- ●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

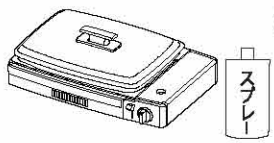
3.使用場所についてのご注意

⚠ 警告(WARNING)

次のような場所では火災の原因となりますので使用しないでください

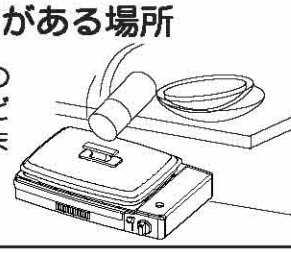
■引火物（ガソリン、灯油、ガスなど）が近くにある場所

引火による爆発のおそれがあります。



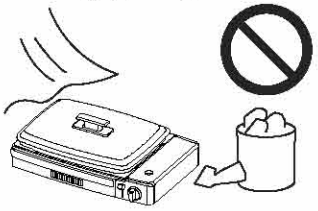
■落下物の危険がある場所

引火や調理器具の転倒によるやけどのおそれがあります。



■カーテンなどが触れる場所や燃えやすいもの、熱に弱いもののそば

引火による火災のおそれがあります。

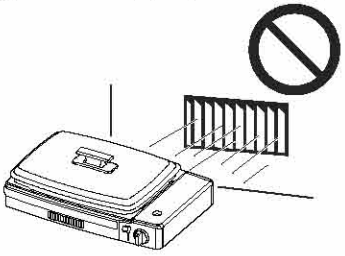


■熱気のあたる場所

過熱により爆発するおそれがあります。

■風の吹き込む場所や風を吸い込む場所

風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体やテーブルをこがすことがあります。



⚠ 注 意 (CAUTION)

屋外で使用するときは、次のことを注意してご使用ください

■直射日光のあたる場所では使用しない

容器（ボンベ）が過熱され爆発のおそれがあります。

■地面の熱くなっている場所では使用しない

地面からの熱で容器（ボンベ）が過熱され爆発のおそれがあります。

■強い風が吹き込んでいる場所では使用しない

炎が吹き消され、ガス漏れを起こす場合があります。

■機器の底部から空気や煙などが吸い込まれる場所では使用しない

■不安定な場所では使用しない

不安定な場所で使用すると、機器がひっくり返り危険です。

■機器の底が砂や小石などで埋まる場所では使用しない

放熱が悪くなり、容器（ボンベ）が過熱され爆発のおそれがあります。

■タタミやジュウタンなど燃えやすいものの上では使用しない

■風の吹き込む場所では使用しない

風により炎が吹き消されることがあり危険です。

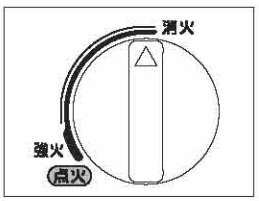
4.火災事故、ガス事故防止のために

⚠ 警 告 (WARNING)

■ガス漏れに気がついたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのにおい（くさった玉ねぎのようなにおい）がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気や火花で引火しますので、電気器具（換気扇など）の入・切や電源プラグの抜き差しはしないでください。また周囲の電話も使用しないですぐに次の処置を行ってください。

1.直ちに火を止める。（器具せんつまみを「消火」方向の止まる位置まで回す）
2.容器（ボンベ）をはずす。
3.窓や戸を開けてガスを外に出す。（換気扇などは使用しないでください）



■容器（ボンベ）がセットされていて、 着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険

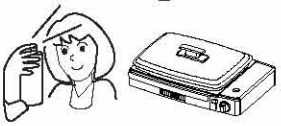
使用しないときは必ず器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。

■使用場所の周囲には、引火物や可燃物を置かない

機器の使用中は、周囲にガソリンなどの引火物や予備の容器（ボンベ）やスプレー缶を放置しないでください。引火や過熱により爆発のおそれがあります。

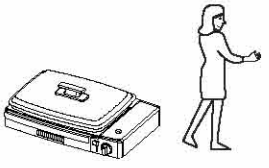
■予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しない

火が燃え移ったり、爆発のおそれがあります。



■使用中は機器から離れない

火をつけたままその場を離れたり、眠り込んだりしないでください。可燃物への引火などにより思わぬ事故の原因となります。必ず火を消してから離れるようにしてください。電話や来客などの場合も、いったん火を消してください。
特に油気のあるものを料理している時は危険です。



■専用プレートを使用して揚げ物料理をしない

火災の原因になります。

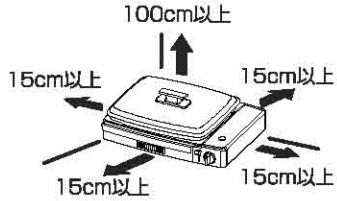
■子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わせないでください。

⚠注 意(CAUTION)

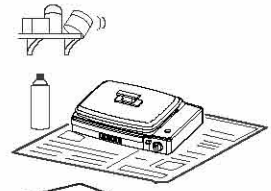
■家具や壁など可燃物から右記以上離して使用する

●壁などが熱せられ火災のおそれがあります。
●木製やガラス、樹脂性、うるし塗りなど熱に弱いテーブルの上でご使用の時は、不燃性の断熱材を機器の下に敷いてください。（使用中の機器の底部はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください）



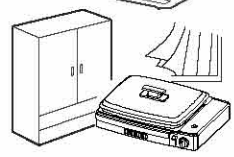
■室内の次のような場所では使用しない。

●物が落ちるおそれがある場所
●新聞紙や段ボールなど燃えやすい物の上
●ガソリンなどの引火物やスプレー缶のそば
●無煙ロースターなど排気する設備の近く



■燃えやすいものを近くに置かない

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
また可燃物（家具・カーテン・洗濯物など）を機器に近づけないでください。火災の原因になります。



■使用中バーナー付近に手や顔を近づけない

炎によりやけどのおそれがあります。

■空だきは絶対にしない

本体の変色の原因になります。

■火のついたまま傾けたり、移動させたりしない

転倒すると、やけどや火災の原因になります。

5.専用プレートとその取扱いについて

●へらなどでこすると光沢ムラができることがありますが、使用上さしつかえありません。
●ご使用にともない調理面に色むらが出ることがありますが、これは食品の油脂分によるもので使用上さしつかえありません。

お願い

■空だきは絶対にしない

フッ素樹脂の劣化やはがれの原因になります。

■熱くなった専用プレートを急激に冷やさない

急激な温度変化により変形するおそれがあります。

■樹脂製または木製のへらやおたまを使用する

金属製のへら・おたま・フォーク・ナイフなどはフッ素樹脂加工面を傷つけ、腐食の原因になります。

■調理中や消火直後は専用プレートを素手で持たない

専用プレートが熱くなっていますので、やけどのおそれがあります。必ずミトンなどを使用してください。

■持ち運ぶとき片手で持ったり、傾けたりしない

専用プレートがはずれ、けがや破損の原因となります。

■料理の残りや水を入れたまま放置しない

こびりつきや腐食の原因になります。

■樹脂製のへらやおたまを専用プレートの中に放置しない

空だきすると予熱でも溶けるおそれがあります。

■プレートは本機器専用プレートのため、他のこんろや電気式グリルに使用しない

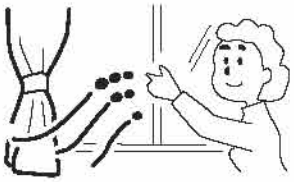
専用プレートが溶解したり、他のこんろや電気式グリルが破損する場合があります。

6.使用上の注意

⚠ 注 意(CAUTION)

■必ず換気（給気、排気）が充分できる所で使用する

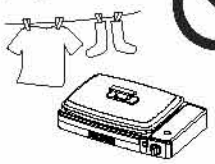
●使用中は1時間に1~2回（1~2分）程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。



しめきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

■衣類などの乾燥に使用しない

燃え移ったりして火災のおそれがあります。



■炎を小さくしすぎると、風で吹き消されることがあります。

■調理以外の用途には使用しない

過熱・異常燃焼により焼損、火災などの危険があります。

■ご使用の有無にかかわらず、古くなった機器は安全のため、ご使用前に点検修理をご依頼ください。

■補助具は指定のもの以外は使用しない

本体以外に風防やなべを受ける器具、特殊な鉄板など応用機器の使用はしないでください。

■着火の確認、燃焼状態の確認

点火時、使用中はバーナーを上から覗き込まないでください。
炎によりやけどのおそれがあります。
確認は確認窓で行ってください。

■使用中や使用後しばらくは手を触れない

機器が熱くなっていてやけどのおそれがあります。手を触れたり移動させないでください。とくにお子さまにご注意ください。ヒートパネル付きの機器の場合、使用中や使用後しばらくは容器（ボンベ）が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。

■異常時の処理

万一異常燃焼したときや、地震や火災など緊急の場合はあわてずに器具せんつまみを「消火」にし、容器セットレバーを「脱」にして、容器（ボンベ）を本体から取り外してください。
「故障・異常の見分け方と処置方法」10ページを参照し、処置してください。

鍋ご使用時のご注意

●煮こぼれによりバーナーの炎が消えることがあります。
炎が消えた場合、すぐに器具せんつまみを「消火」の位置まで回し、点火プラグやバーナーの煮こぼれをふきとってから、ご使用ください。

お 願 い

●点火、消火時のほか、使用中には正常に燃えているかときどき確認してください。

万一容器(ボンベ)が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えますので次のような処置をしてください。

（1）調理している鍋などをおろしてください。
（2）器具せんつまみを「消火」の位置に戻し、容器セットレバー「脱」の位置に押し上げて、容器（ボンベ）を取り出してください。
（3）容器（ボンベ）の温度が上がった原因を取り除いてから再使用してください。
容器（ボンベ）の温度が高いうちは、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。
容器（ボンベ）は必ず冷やすか別の容器（ボンベ）を使用してください。
（4）容器（ボンベ）をセットしてから、リセットボタンを強く押して解除してください。（7ページ）

圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

圧力感知安全装置

●容器(ボンベ)が過熱され容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的にガスの流れが止まり、こんろの火を消す装置です。

このようなときには、「特に注意していただきたいこと」の項（2~6ページ）を見ていただき、その原因を取り除いてから次の要領でリセットしてください。

圧力感知安全装置のリセットのしかた

① 器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。
② 容器セットレバーを「脱」にして容器(ボンベ)を取り外してください。
③容器カバーを開けて圧力感知安全装置のリセットボタンを棒状のもので押したり、10円玉などのコインをリセットボタンに当てて指で押してリセットしてください。
④予備の容器(ボンベ)をセットしてください。予備の容器(ボンベ)がない場合には、外した容器(ボンベ)が冷えてからお使いください。
⑤点検後、再点火してください。

（作動時）

（正常時）

お 願 い

●安全装置が作動した後、点検して再点火してもたびたび同じような作動を繰り返すような場合は、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご連絡ください。

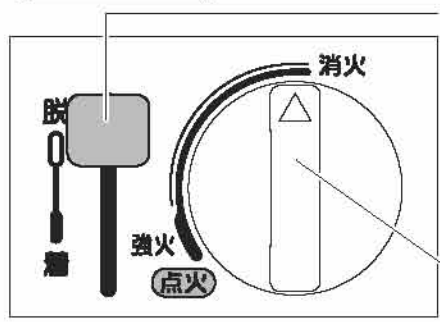
各部のなまえ

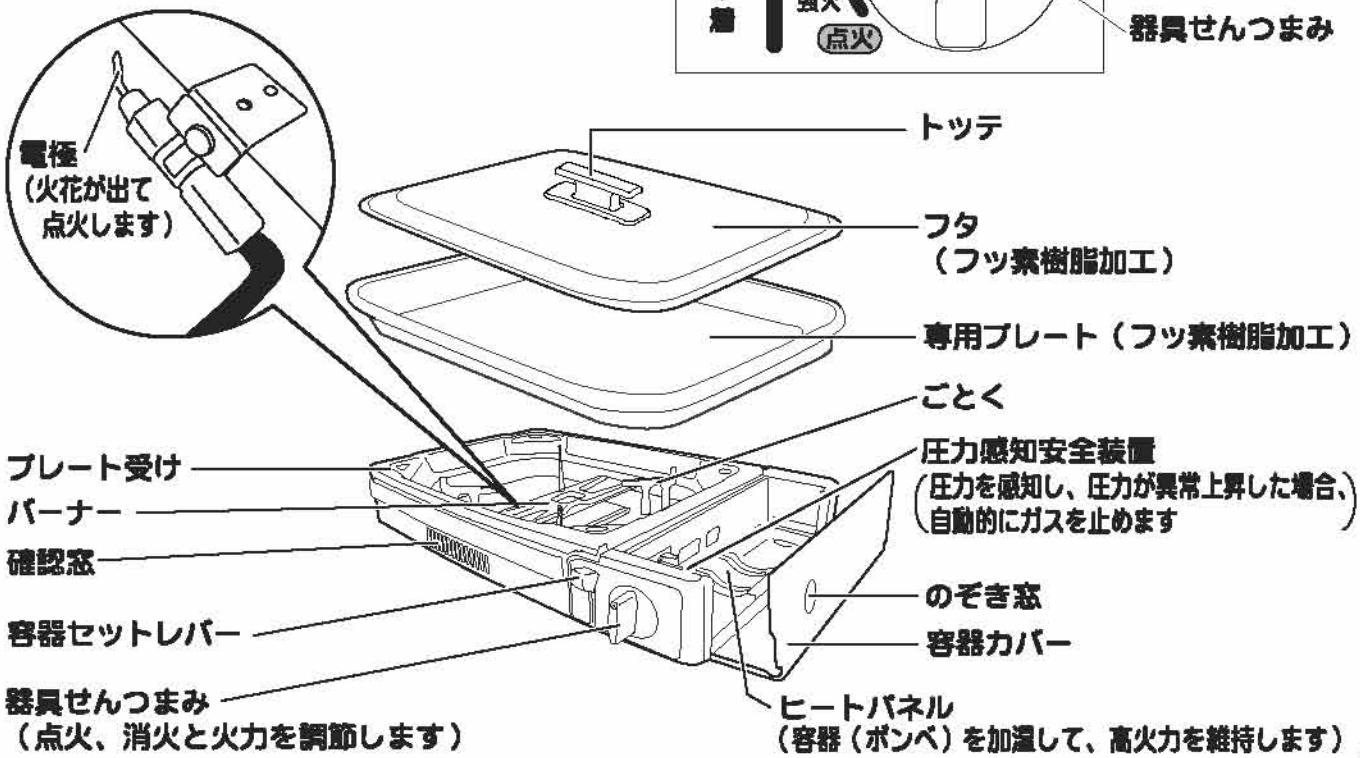
外　観

GHP-210Nの特長

●コンロとして鍋や、やかんも使用できます。使用できる鍋の大きさは、鍋底がたいらで直径19cm以上、26cm以下のものを目安としてご使用ください。

操作部





仕様

製　品　名	グリーンウッド カセットボンベ式ガスクックプレート
形 式 の 呼 び	GHP-210N
点 火 方 式	圧電点火方式
発　熱　量	2.1kW（1800kcal／h）
外 形 寸 法	幅485×奥行333×高さ173（mm）（使用時）
質　量（本体）	約4.4kg　容器（ボンベ）を除く
使 用 ガ ス	ブタンガス
出力（ガス消費量）	2.1kW（1800kcal／h）152g／h　＊1
連続燃焼時間	約１時間40分　＊2
安 全 装 置	圧力感知安全装置（閉止型）
使用容器（ボンベ）	クッキングファイヤー

＊1：気温20～25℃時、最大火力で使用したときの30分間実測値を1時間の消費量に換算
＊2：気温20～25℃時、最大火力で使用したときの目安時間

正しい使いかた

⚠警　告

- ●故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。
- ●容器（ボンベ）を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。
- ●容器（ボンベ）をセットしても「シュー」と音がしてガスの臭気がする場合には、完全に装着されていません。もう一度よく注意して取付け直してください。装着が不充分な状態で使用すると火傷や事故の原因になります。
- ●「シュー」と音がしてガス漏れが止まらない時には使用しないで、点検修理を依頼してください。漏れたガスを完全に追い出すまでは、絶対に火気、電気器具は使用しないでください。

⚠注　意

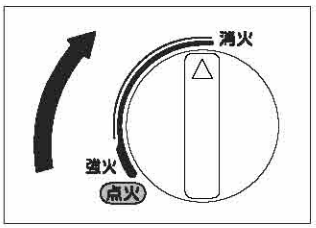
- ●無理な力でセットレバーを動かさないでください。必ず容器受けガイドの凸部と容器（ボンベ）の切り込みの位置が合っていることを確認してください。
- ●未点火の状態で器具せんつまみを「消火」以外の位置にしておくと生ガスが出て危険です。
- ●容器（ボンベ）が冷えていますと火力低下を起こします。40℃以下の暖かい場所で保管した、できるだけ新しい容器（ボンベ）をご使用ください。

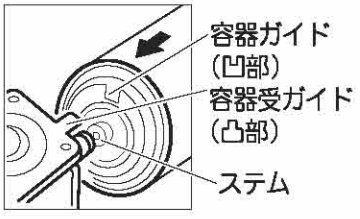
■設置場所（使用場所）及び周囲の防火処置

- ●テント内、車内、トイレ、浴室など密閉された場所では使用しないでください。
- ●引火物、可燃物が周囲にある場所では火災のおそれがありますので使用しないでください。
- ●強い風の吹き込む場所や、出入口など人の通る場所では使用しないでください。
- ●水平な場所で使用してください。振動の激しい場所では使用しないでください。
- ●他のヒーター、ストーブなど大きな熱源のそばでは使用しないでください。火元の熱でボンベが過熱され、爆発のおそれがあります。

■容器（ボンベ）の取りつけかた

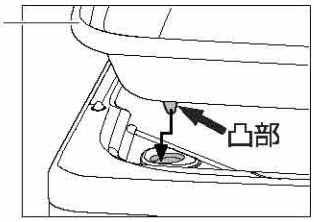
①器具せんつまみが「消火」位置にあることを確認してください。
②器具せんつまみを「消火」の方向へ止まるまで回してください。次に容器セットレバーを「脱」の位置に合わせます。器具せんつまみが「点火」の位置にあるときは、容器（ボンベ）がセットできない機構になっていますので、ご注意ください。
③容器カバーを開けてください。
④容器（ボンベ）の容器キャップをはずしてください。
⑤容器（ボンベ）のステム先端に異物の付着がないことを確認し、ヒートパネルに容器（ボンベ）を載せ、この容器（ボンベ）の切り込み（容器ガイド凹部）を容器受けガイド（凸部）に合わせてセットしてください。
⑥容器セットレバーを「着」のところまで押し下げます。この際、容器ガイドが容器受けガイドにおさまっていることを確認してください。
⑦容器（ボンベ）を装着したら容器カバーを閉じてください。





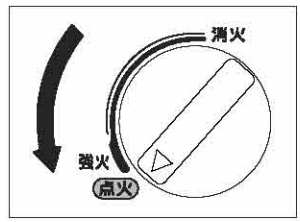
⚠注　意	●器具せんつまみが「消火」の位置にないと容器（ボンベ）が装着できません。 ●炎を小さくしすぎると、風で消えやすくなりますので、ご注意ください。 ●使い始めのときや、容器（ボンベ）の温度が低いときには点火しにくい場合があります。注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。 ●点火したときに、バーナーより炎が離れて燃焼しているときがありますが、異常ではありません。2～3分間、器具せんつまみを少し絞って使用してください。 ●容器（ボンベ）を取りはずした後も、機器の配管には少量のガスが残っています。危険防止のため、もう一度残っているガスを燃焼させてください。

操作のしかた



1.点火する

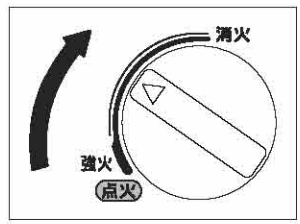
①専用プレートの凸部がプレート受けの穴に入り正常に取りつけられているか確認してください。（4カ所）
器具せんつまみを「点火」の方向にゆっくりと回し点火します。
圧電点火装置がカチッと音がするまで回して、着火を確認してください。
一度でつかない場合は、再度くりかえしてください。点火しないまま、器具せんつまみを回し、点火の位置にしたままにしておくと生ガスが出て危険です。点火したかどうかを必ず確認窓からのぞき確認してください。



2.専用プレートを加熱し、調理を始める

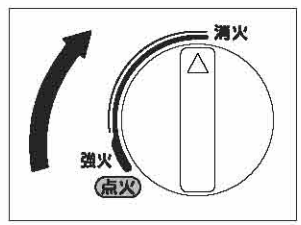
おいしく料理を作るために、まず必要な温度まで専用プレートを加熱してください。
①点火して火力を強火にしますと、2～3分でプレート面が200℃近くまで上昇しますので、サラダ油などをぬって調理を始めてください。
②予熱のとき、温度を上げすぎ、空だき状態にならないようにしてください。

※下記の **空だきの禁止について** をごらんください。



3.火力調節

①器具せんつまみを「点火」の方向へ回すと火力が強くなり、「消火」の方向へゆっくり回すと弱くなります。強火から弱火にするときは、器具せんつまみをゆっくり回してください。弱火で使用されるときは、特に風に注意してください。



4.消火する

①器具せんつまみを「消火」の止まる位置まで回し、火を消してください。
●必ず消火したことを確認してください。

5.容器（ボンベ）の取りはずしと保存

①器具せんつまみを「消火」の位置に合わせてから容器カバーを開けます。
②容器セットレバーを「脱」の位置に押し上げてください。容器（ボンベ）を取り出し、容器カバーを閉めてください。
③容器（ボンベ）にガスが残っている場合、容器キャップをかぶせてから40℃以下となるところに保存してください。また、使用済みの容器（ボンベ）は火中に投げ入れないでください。
（詳しくは3ページ「使用容器（ボンベ）とその取扱いについて」をご覧ください）
容器（ボンベ）を取はずした後も、配管には少量のガスが残っています。
危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

空だきの禁止について

空だきを長くしますと、専用プレート表面（料理面）のフッ素樹脂加工を早く傷めますので、ご注意ください。（詳しくは5ページ「専用プレートとその取扱いについて」をご覧ください）

フッ素樹脂加工について

フタ、専用プレートの調理面は耐久性の高いフッ素樹脂加工をしていますので、こびり付きにくくなっていますが、長くご使用いただくためには次のことに注意してご使用ください。

①料理面に、水や調理物を入れたまま放置しないでください。こびりつきや腐食の原因になります。

②ご使用にともない、料理面に色むらができることがありますが、これは食品の油脂類によるものです。使用上はさしつかえありません。

日常の点検・お手入れ

⚠注　意

- ●日常の点検・お手入れを必ず行ってください。故障または破損と思われるものは使用しないでください。
- ●手、指の保護のため、必ずゴム手袋などを使用してください。
- ●本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、サビの原因となります。
- ●点検・手入れの前には、必ず容器（ボンベ）を取り外してください。
- ●点検、手入れは本体が冷えてからおこなってください。
- ●ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- ●特に煮こぼれしたときは、必ずバーナーの清掃をおこなってください。
- ●消火直後は非常に高温になっていますので、専用プレートに水をかけないでください。熱湯、油が飛び散り、やけどするおそれがあります。

点　検	手入れの方法	ご　注　意
煮こぼれの有無	固く絞った布で煮こぼれをふき取ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で手入れした後、乾いた布で、充分に水気を取っておいてください。	手入れの際は、ガス導管（銅パイプ）を動かさないでください。
バーナーの目づまり	ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。（このとき、電極の位置を動かさないようにしてください）	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。バーナーは常にきれいにしておいてください。
電極の汚れ（点火しなくなった場合）	電極の汚れは、乾いた布でふきとってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、器具せんつまみを点火方向に操作すると感電することがあります。
本体・容器（ボンベ）の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で充分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つけるおそれがあります。またナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器（ボンベ）を傷つけます。
専用プレート・フタプレート受けの汚れ	食器用洗剤を使用し、やわらかいスポンジで洗いよく乾かしてください。 ※研磨剤入りのスポンジや固いスポンジ、金属たわしは傷がつくおそれがあります。	フタ、専用プレートはつけおき洗いしないでください。また、裏面の汚れや異物は取り除いてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

現象／原因	点火しない（しにくい）	バーナーに火移りしない	炎が安定しない黄炎で燃える	炎が不揃い	火力が弱い	ガスのにおいがする	使用中に消火した	消火しない	ボンベが装着できない	器具せんつまみを「消火」にしてもガスが漏れる	処置方法	参照ページ
他社容器（ボンベ）を使用している	●								●	●	クッキングファイヤー専用容器を使用する	
ガスが少なくなっている	●	●			●		●				新しい容器（ボンベ）に取替える	
電極部の汚れ・水分の付着	●										汚れ・水分をふきとる	
バーナーの炎口部の目づまり	●	●	●	●	●						金属ブラシなどで、目詰まりを取り除く	10
点火操作が適切でない	●					●					正しい点火操作をする	9
ノズルがつまっている	●	●	●		●		●				点検修理を依頼する	
器具せんの故障	●					●		●		●	点検修理を依頼する	
圧力感知安全装置が作動	●						●				原因を除去してリセットする	7
点火装置の故障	●										点検修理を依頼する	
器具せんつまみが全開でない					●		●				器具せんつまみを全開にする	
器具せんつまみが「消火」になっていない									●		器具せんつまみを「消火」にしてセットする	
容器（ボンベ）のセット不良	●					●			●	●	容器（ボンベ）の容器ガイドを正しくセットする	8
本体が変形している（歪み）									●		点検修理を依頼する	

このような時は故障ではありません

次のような現象が起こりましたら、原因を除いて適正にご使用ください。

現　象	原　因	処置方法
点火しにくい ●電極からバーナーに火花が飛ばないで違うところに飛んでいる。 ●急に火花が飛ばなくなった	1）電極とバーナーとの間隔がずれています。 2）電極の白い部分（セラミック）に水滴が付着しているか汚れています。	●電極とバーナーとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。火花の飛ぶ方向を調節してください。 ●水分、汚れにより漏電しています。取り除くとなおります。
使用中、容器（ボンベ）にガスが残っているのに火が消えた	異常な使用のために容器（ボンベ）の温度が高くなって、**圧力感知安全装置が働いています。**	●P7の「圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」に従って復帰させてください。

保管（長期間使用しない場合）

●容器（ボンベ）を必ず機器から取はずし、そのままで点火操作をし、ガス通路の内部に残っているガスを燃やしきってください。
●機器などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
●機器の各部が冷えてから、各部の汚れやほこりを布でふきとり、収納箱または袋に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
●取はずした容器（ボンベ）は、容器キャップをして、風通しがよく、湿気の少ない40℃以下となる場所に保管してください。
●保管してある容器（ボンベ）は時々点検して、さびたりしないように手入れを行ってください。
●特にストーブなど他の熱源のそばでは絶対に保管しないでください。

ご注意

機器に容器（ボンベ）をセットまたは、入れたままの状態で保管することは絶対にしないでください。
必ず別々に保管してください。

アフターサービス

■サービス（点検・修理）を依頼される前に

（1）10～11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」「このような時は故障ではありません」の項を見て、一度ご確認ください。
（2）ご確認の上で、それでも不具合がある場合、あるいは不明な場合は、自分で修理なさらないで、お買上げの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。
（3）保証書に記載されている無料修理規定以外は、有償となります。

■補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後5年間となっています。
●補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

容器（ボンベ）のお求めは　容器（ボンベ）はクッキングファイヤーとご指定の上、お買い求めください。

アフターサービスをお申し込みになるときは
お買い求めの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

＜利用目的＞
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために当社（（株）グリーンウッド）及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

販売店様へのお願い　下の保証書に必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

カセットボンベ式　ガスクックプレート保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
本書は、再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

1.取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買上げの販売店が無料修理いたします。
ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2.保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参、ご提示の上、お買上げの販売店にご依頼ください。
3.ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にお問い合わせください。
4.ご贈答などで本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社へお問い合わせください。
5.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ. 本書の提示がない場合。
　ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト. 仕様変更など。
6.本書は日本国内においてのみ有効です。（Effective only in Japan.）
7.本書は再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。
●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきまして、ご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理または補修用性能部品について、くわしくはアフターサービスの項をご覧ください。

株式会社グリーンウッド

持込修理

型式の呼び
GHP-210N
保証期間
お買上げ日 年　月　日より
本体お買い上げ日から１年間

お客様
ふりがな お名前　様
〒 ご住所
TEL

取扱販売店
店名・住所・電話番号 ㊞

故障・修理の際の連絡先

修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店か、右記へお問い合わせください。

（株）グリーンウッド
お客さま相談室
フリーダイヤル 0120-117-446
受付時間：月曜日～金曜日［AM9：00～PM5：00］
（土曜・日曜・祝日および当社休日を除く）

株式会社グリーンウッド
本社　〒675-2462兵庫県加西市別所町395番地　☎0790(44)2817

2012年8月現在（所在地、電話番号などについては変更のある場合がありますので、その節はご容赦願います。）　1208:★★